

# 広報広聴特別委員会会議記録

【開催日時】 平成28年5月16日（月）  
午後2時～午後3時47分  
（休憩：午後3時12分～午後3時22分）

【開催場所】 第1委員会室

## 【出席委員】

委員 長	長谷川 知 司	副委員 長	河 野 朋 子
委員	大 井 淳一朗	委員	下 瀬 俊 夫
委員	中 村 博 行	委員	矢 田 松 夫
委員	山 田 伸 幸	委員	吉 永 美 子

## 【欠席委員】

委員 笹 木 慶 之

【委員外議員等】 なし

## 【事務局出席者】

局 長	中 村 聡	局 次 長	清 水 保
書 記	原 川 寛 子		

## 【付議事項】

1 議会報告会のあり方について

## 【議事の概要】

1 議会報告会のあり方について

○議会報告会総括について

（各委員の意見）

- ・市民との関係で基本的にどうなったのかが必要ではないか。
- ・要綱の内容に沿って議論を絞ったほうがいいのではないか。
- ・総括の第1条で「実施しているつもり」とあるが、「つもり」でやっているわけではない。市民の自覚は関係なく、議員自身が変わろうということで始めた。
- ・議会の機能を市民が理解しないと市民との関係は変わっていかない。
- ・3月報告会では全市を回っていく意義として、幅広い市民の意見を議会として聞いていくことが示された。
- ・6月を検討する中で根本的な問題も修正していくのが一番いいのではないか。
- ・評価すべきところは評価しなくてはいけない。
- ・市民の評価のためではなく、議会の最低責任を果たすところから始まった。

- ・要綱どおりの議会報告会が行われたかをきちんと検証しないといけない。
- ・労力を使って議会報告会をしているが、皆疲れてきたのではないかな。
- ・他市議会からも高く評価されており、いろいろ発見点があった。
- ・先進地では市民自身が議会活動を検証する機関を作っているが、自分たちは議会の中だけで、市民は関係ないという重大な弱点がある。
- ・議会報告会で出された意見に対して委員会が対応していく流れにすれば政策形成サイクルに似たものになる。
- ・議会アドバイザーや先進地に行くなど積極的に考えていかななくてはならない。
- ・回数も会場数も実施要綱に基づいて実施してきたことはある程度自信を持っていいと思う。
- ・市民の参加をもっと増やしたい、説明責任を果たす場を増やしたいということが今後の課題としてある。

#### ○6月報告会について

(各委員の意見)

- ・こちらから出掛けていくという方向で臨んだらどうか。
- ・従来どおりとの意見もあるので、きちんと話し合いたい。
- ・要綱に「市民との意見交換を行うために」とあるので、意見交換にシフトしていけばいいのではないかな。
- ・市民と一緒に政策的なものを考えるのか、予算可決前に市民の意見を取り入れるのか。
- ・いろいろな方法がある。決まったことの報告ではなく、議会がこれからよりよい方向にしていくためにどうしたらいいか考える契機になる。
- ・テーマに子育て支援を挙げる委員が多いがどうか。
- ・自治会では高齢者に対する見守り等で苦勞している。子育ては終わったことという状況になるのではないかな。
- ・特定の階層を対象にして意見交換するのではないかな。
- ・子育てをテーマに挙げたのは今まで余り議会報告会に来なかった階層にターゲットを絞るという意味もある。
- ・大きく転換するのは難しい。議会報告会なので各常任委員会の報告は必要ではないかな。その後いろんな知恵や地域の要望を聞いたらどうか。
- ・自分たちの声が活かされていくと分かれば、若い保護者も議会に関心を持つきっかけになる。
- ・子育て支援の団体へ動員を依頼することは、議員が動員する肩代わりをさせることになるのではないかな。
- ・目的意識をきちんと示してやっていけばいつの日か成果は上がってくる。
- ・定期的に児童クラブの集まりがあるので、その場を借りるところから始めないと難しい。
- ・イベントや行事に間借りするとなると時間が余り取れないのではないかな。

#### ○3月議会報告会で出た要望・意見の取扱いについて

- ・議会報告会で出た要望や意見をきちんと対応していることを出していくことが参加の呼び掛けになるのではないかな。
- ・今回は議会報告会に来たことのない方を対象に考えているので、3月報告会

の回答はあまり必要ではない。議会の仕組みなど市民の意見がどうフィードバックされているかを説明したらどうか。

- ・今回は対象が違うのでホームページに載せる程度でいいのではないか。
- 子育て世代の対象者について
  - ・子供が未就園児、保育園や幼稚園、小中学生かによって話のテーマや場所が変わってくるのでターゲットをまず決めたい。
  - ・それぞれが施設等に調べに行き、それを持ち寄ったらどうか。
  - ・児童館の中の未就園児を対象にしたクラブや子育て支援センターはどうか。
  - ・未就園児のサークルは子供たちを遊ばせている間に時間がある程度取れると聞いたことがある。保護者会は時間が取れないと思う。
  - ・子育て総合支援センターであれば、ターゲットを絞る必要はない。世代ごとで悩みや改善してほしいことが違う。
  - ・児童館やココシエのサークルに出掛けていく位置付けでいいと思う。
  - ・会場に来てくださいという形式は難しいと思うので、こちらから出掛けて行くのが一番いい。
  - ・市役所の担当部署で話を聞いて、個別のサークルに当たりたい。
- 市民懇談会とのすみ分けについて
  - ・意見交換が主なら議会報告会というよりも市民懇談会に近いのではないか。市民懇談会でやるにしても要綱の変更は必要である。
  - ・実施要綱の範囲で試しに意見交換をすることも必要である。
  - ・市民懇談会の形式も検討したらどうか。議会報告会は縛りが強く、その範囲内でやるのはなかなか難しい。
  - ・市民懇談会の要綱を議会が主催できると変えたほうが議会報告会でやるよりも自然だと思う。
  - ・最初に議会とはどういったものを説明することで報告になるのではないか。
  - ・実施要綱をどちらも変える必要があるのなら、自分たちが動きやすい環境を作るべきである。
  - ・原則毎定例会後とあるので、議会報告会自体はきちんとしなないといけない。
  - ・報告会と懇談会、意見交換会を混ぜたような形でやればいいのではないか。
  - ・ネーミングも含めてきちんと検討すべき。

#### 【委員会のまとめ】

6月議会報告会は子育てをテーマとして意見交換等を行う方向であるが、市民懇談会として行うのか、あくまでも議会報告会の範囲で行うのか、また対象者の選定等については次回の委員会で話し合うこととした。

#### 2 その他

- ・次回委員会開催日時 5月26日（木）午前10時

平成28年（2016年）5月16日

広報広聴特別委員会委員長 長谷川 知司